旨し酒を友として、
役者という新たな冒険に船出した
ピッチの貴公子。

松本岳

松本岳

まつもと・がく。93年生まれ、富山県出身。13年、デビュー。近作にドラマ「名もなき毒」('13)「Dr. DMAT」('14)、舞台「青年Kの矜持」('14)など。身長172cm、血液型O型。

「あらゆる冒険は酒に始まるんです」

夏目漱石は小説「彼岸過迄」の中で、作中の人物にこう語らせることで酒の功徳を説いた。文豪の言をあたかも体現するかのように、20歳になった瞬間に役者という新たな冒険に踏み出したのが、松本岳さんだ。そして、その冒険の友として、いつもそばには旨し酒と良き仲間がいる。

「週4日は飲んでます。仕事が終わると、何時だろうと大学の仲間と連絡をとって飲みに行きます」

デビューして間もない松本さんにとって、舞台やTVの現場は緊張の連続。厳しい先輩に囲まれて、神経の休まる暇とてないことは容易に察しがつく。酒と、そして気の置けない仲間との語らいは、そんな疲れた心を癒やしてくれる特効薬なのだ。

とはいえ、もちろん先輩との酒席の機会がないわけではない。そんな時は緊張しまくってます、と笑う松本さんだが、全国大会に後一歩で手が届くほどサッカーに打ち込んだ熱血漢だけに、しっかりと諸先輩の言葉にも耳を傾ける。

「普段は話せないようなことでも、お酒の席ではいろいろな話ができるので、ひとつひとつが勉強だと感じています」

緊張の中にも、学ぶことの楽しさをしっかりと認識できる心の強さもまた、サッカーの賜物なのかもしれない。

時間をかけてゆっくり飲むのが好きと言う若き冒険者のお気に入りが、海童のように「キックの利いた」大人の焼酎。友人とふたりなら、一晩で軽くボトル2本はいけるとか。最初は、焼酎の独特の香りの高さに苦手意識があったものの、飲み始めてみるとその奥深さにはまった。

いまは仕事にも酒にも無我夢中の毎日だが、役者としても酒飲みとしても、密かに憧れている先輩がいる。若き冒険者が思い描く、理想の役者像と大人の飲み手の姿がそこにはある。その目標に向かって突き進むのが、いまの最大のテーマなのだ。

「ひとりでフラっと飲みに入ったバーで、そこのマスターと大人の会話ができるようになったら最高です」

そのためにも、まずは何事も修業という自覚が大切なのだと思います、と照れ笑いする松本さんだが、そうした気概があればこそ、サッカーで成し遂げられなかった全国制覇の夢を、役者という新たなピッチで実現する日も、けっして夢ではないのかもしれない。

濱田酒造の創業は明治元年。以来、「本格焼酎を真の國酒へ、更には世界に冠たる酒へ」というコンセプトのもと、伝統の味・技・心を守りつつ、革新的な酒造技術の開発にも心を砕いている。「黒海童」と「海童　祝の赤」は、その頂点のひとつでもある。
濱田酒造株式会社 お客様相談室 ☎ 0996-21-5260 www.hamadasyuzou.co.jp

宮下流牛鍋は、A5ランクの黒毛和牛と京都の石野味噌をベースにした自家製味噌が絶妙のハーモニーを奏でる逸品。コースは5,130円からというコストパフォーマンスの高さも魅力だ

**江戸前肉割烹
宮下**

夜景に映える東京タワーは、宮下ならではの小粋なデザートだ。

●東京都中央区銀座2-2-14 マロニエゲート12F　☎03-3538-4129　ランチ月～金11:00～15:00、土日祝11:00～16:00、ディナー17:00～23:00 (LO22:00)、土日祝16:00～23:00 (LO22:00)

Photo／Kazushige Nagaya, Text／Susumu Tomita, Hair & Make up／Takeshi Ishikawa, Stylist／Katsuhiko Kitamura